※令和４年度以降入学生用

学校番号	３２９

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学 A	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	Standard　数学 A（東京書籍）						
副教材等	STAGE 数学 I＋A（東京書籍）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

● 必ず自分で解こう

数学の勉強では，答えを眺めてわかったつもりになっていても，実際に問題を解くと解けないことがよくある。数学の勉強をするときには，必ずノートにきちんと計算したり図を描いたりしながら解いていくようにしてほしい。そうすることで，自分自身が本当に理解できているかどうかを確認することができ，自分の力を伸ばしていくことにつながっていく。

● わからない問題でもあきらめない

わからない問題にぶつかったとき，簡単にあきらめてはいけない。解けない問題を解こうとする過程が大切であり，それが本当の勉強であり力を伸ばす源となる。難しい問題が解けたときは本当にうれしいものである。どうしてもわからない問題があったら，遠慮せずに質問に来ること。絶対にそのままにしておかないことが重要である。疑問点はその日のうちに解決していくことを心がける。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】場合の数と確率，図形の性質について，概念を理解し，基礎的な知識の習得と処理技能の習熟を目指す。

【思考力，判断力，表現力等】場合の数と確率，図形の性質について，事象を数学的に考察する能力や，習得した知識，習熟した技能を的確に活用する能力を伸ばすことを目指す。

【学びに向かう力，人間性等】場合の数と確率，図形の性質について，数学的な見方や，考え方のよさを認識し、見通しをもって粘り強く取り組み、その過程や結果を振り返って評価・改善してよりよい成果を求めようとする態度を育てることを目指す。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	図形の性質，場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と人間の活動の関係について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	図形の構成要素間の関係などに着目し，図形の性質を見いだし，論理的に考察する力，不確実な事象に着目し，確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力，数学と人間の活動との関わりに着目し，事象に数学の構造を見いだし，数理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1章　場合の数と確率	第1節　場合の数 ・集合の要素の個数 ・場合の数 ・順列 ・組合せ	a:和集合や補集合について理解し、その要素の個数を求めることができる。 樹形図などの基本的な考え方を用いて、様々な場面においての場合の数を求めることができる。 b:，誤った考え方について批判的に考察するとともに，それについて説明することができる。 条件のある場合の数において条件を的確に判断して総数を求めることができる。 c:条件のある場合の数について複数の求め方を考えたり、それらを比較検討しようとする。	定期考査 提出ノート 小テスト	定期考査 提出ノート 小テスト レポート	提出ノート レポート
		第2節　確率 ・事象と確率 ・確率の基本性質	a: 試行の結果の割合が近づいていく値として確率の意味を理解している。 確率の定義を用いて，簡単な確率を求めることができる。 b: 根元事象が同様に確からしいことの意味を理解し，何を区別して確率を求める必要があるかのことなどの理由を説明することができる。 c: 統計的確率と数学的確率の違いに興味・関心をもつ。 条件のある確率について複数の求め方を考えたり、それらを比較検討しようとする。	定期考査 提出ノート 小テスト	定期考査 提出ノート レポート	提出ノート レポート

※令和４年度以降入学生用

２学期	第１章　場合の数と確率	第3節　確率 ・独立な試行と確率 ・条件付き確率 ・期待値	a:独立な試行の確率や条件付き確率を求めることができる。 期待値の定義を理解し、それを求めることができる。 b:様々な事象の確率について、状況を正しく判断し、適切な方法で確率を求めることができる。 期待値を用いて損得や有利不利の判断ができる。 c:くじ引きの確率や原因の確率など日常的な場面における確率に関心をもち、考察しようとする。	定期考査 提出ノート 小テスト	定期考査 提出ノート 小テスト	提出ノート レポート
	第２章　図形の性質	第1節　平面図形 ・三角形の角の二等分線と辺の比 ・三角形の外心,内心,重心 ・チェバの定理,メネラウスの定理 ・円に内接する四角形 ・円と直線 ・2 つの円 ・作図	a:線分の内分,外分、三角形の外心,内心,垂心、チェバ,メネラウスの定理、円周角の定理、接弦定理、方べきの定理など、平面図形における様々な基礎的内容を理解している。 b:定理の証明を正確に読み取り、論理展開を正しく説明できる。 三角形の内心，外心，重心の性質を，それらの違いや関係も含めて理解し，条件からどのような点であるか判断できる。 c: 図形の性質に関心をもち、他の性質も考察しようとする。 三角形の外接円は必ず存在するが，三角形以外の場合は必ずしも存在しないことから，四角形が円に内接する条件を考察しようとする。	定期考査 提出ノート 小テスト	定期考査 提出ノート 小テスト	提出ノート レポート

※令和４年度以降入学生用

		第2節　空間図形 ・直線と平面 ・多面体	a:空間における 2 直線の位置関係やなす角について理解している。 多面体どうしの関係を利用し、体積などを求めることができる。 b:空間における直線や平面の位置関係について理解し、与えられた条件から垂直や並行などの判断が正しくできる。 c: 三垂線の定理やオイラーの多面体定理に興味を持ち、図形の考察に活用しようとする態度がある。	定期考査 提出ノート 小テスト	定期考査 提出ノート 小テスト	提出ノート レポート
3学期	第3章　数学と人間の活動	・約数と倍数 ・素数と素因数分解 ・最大公約数,最小公倍数 ・整数の割り算 ・ユークリッドの互除法 ・1 次不定方程式	a:倍数の判定法を理解し、それらを用いて数を調べることができる。 互除法の原理を理解し、問題に応用できる。 b:事象を数学的にとらえ、整数に関わる性質を用いて考察できる。 互除法の原理を有理数や実数の範囲に拡張し、その結果について考察することができる。 c: 日常生活における具体的な事象に約数と倍数の考えが活用されていることを理解し, 具体的な事象についてそれを確認したり考察したりしようとする。	定期考査 提出ノート 小テスト	定期考査 提出ノート レポート	提出ノート レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度